

株式会社ミュージックバード 第65回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成27年3月24日(火) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

3. 出席者

◆番組審議会委員

- ・矢内 廣 委員長
- ・松尾 修吾 副委員長
- ・中西 健夫 委員
- ・佐野 光徳 委員

◆放送局

- ・一瀬 社長
- ・雄谷 常務
- ・江森 技師長
- ・岩崎 プロデューサー
- ・田中 プロデューサー
- ・事務局 高木

4. 議事概要

今回は、cross culture チャンネルの番組 「ラジオドラマスペシャル『99%ありがとう～ALS患者ヒロからのメッセージ』」(3月21日(土) 11:00～12:00 出演: JESSE、かかずゆみ 他)について審議が行われた。

- ・当番組は、ALSを発症した広告プランナー藤田正裕氏の自叙伝的エッセイ「99%ありがとう～ALSでも奪えないもの」をラジオドラマ化したもの。アメリカンスクール時代からの友人であるJESSEが藤田役で初めてラジオドラマに出演。ドラえもんのしずかちゃん役で人気の声優かかずゆみがラジオディレクターとしてALSのドキュメンタリー番組を制作している最中に不思議な体験をする物語。不治の病であるALSの特効薬開発と患者のコミュニケーション支援への助成を呼びかける目的で制作した。昨年、全国コミュニティFMに配信、72局で放送された作品を124ch cross cultureで再放送した。
 - ・制作にあたっては、ラジオドラマという重くなりがちな手法の中で、藤田氏の今時の若者らしさ、ALSという病気に立ち向かう強さをいかに表現するかに苦心した。ということが放送局側から説明され、これに対して委員からは、
 - ・ラジオドラマとして非常によくできている。ただし音楽専門チャンネル内で流す番組としてはいささか唐突さを感じた。事前の案内をしっかり行ったり、音楽以外の様々な企画を放送するチャンネルで放送するのであれば、ラジオドラマは非常にいいコンテンツだ。
 - ・10人が聴いたら10通りの景色が描かれる点で、ラジオドラマは音楽と似ている。近年、情報を視覚に頼ることでスポイルされてしまいがちだが、人間は創造とかイメージをもっと自分で作っていくことが大切だ。人間の根源的な能力に触れるという意味で、ラジオドラマは非常に面白いと思う。音楽の放送だけにこだわるのではなく、もっと広義に捉えてもいい。
 - ・楽曲がいくつか使われていたが、ドラマの内容とは関係のない選曲であったのが惜しい。音楽とドラマをからめて作ると非常に面白いと思うのだが、今回は「音楽」がテーマではないにせよ、そこまで至っていないのが気になった。
 - ・楽曲が先に在り、それをイメージして作るラジオドラマなども非常に面白い試みになると思う。
- 等の意見・助言があった。